

# 平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	『内部統制における情報管理マネジメント人材育成プログラムの開発』		
法人名	学校法人 麻生塾		
学校名	麻生情報ビジネス専門学校		
代表者	理事長 麻生 泰	担当者 連絡先	麻生情報ビジネス専門学校 法人 本部清崎 昭紀(きよさき あきのり) 092-415-2289

## 1. 事業の概要

企業における情報は、1)業務処理に必要な入出力情報、2)事業継続に必要なバイタルレコード情報、3)情報保護が必要なセキュリティ対象情報、4)内部統制の対象情報、5)特許や研究開発の情報など、様々な視点から管理されています。企業の情報管理は部門を中心に行われ、対象となる法律や条例が数多く存在します。部門毎に情報が管理されることで、情報をどのように管理することが適切か部門の機能範囲の判断になり、企業全体の統制が難しい環境にあります。現在、企業のマネジメント人材は、情報を統制し管理する統合的なスキルが求められています。本事業は新たな「若者の再チャレンジ支援事業」として、情報統制に求められるスキルを兼ね備えた「情報管理マネジメント人材」を育成する為に必要な教育プログラムを開発します。

## 2. 事業の評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況

- (1)各専門分野の委員、分科会の方々の協力、ご支援により当初計画通りに会議開催がなされ、充実した教育プログラムが構築できた。  
 (2)当初計画した教育プログラムの市場調査、開発、実証検証が出来た。

市場調査： 延べ400企業・団体へ調査依頼し、有効回答132を回収。情報管理上の課題・問題点の特定が出来、プログラム開発のための十分な情報収集・傾向分析が出来た。  
 教育プログラム：受講者の習熟レベルや就業年限など事前に考慮すべき点が多く、プログラムのレベル設定が難しかった。演習やケーススタディなどを加味することなどの工夫・改善点を加えた。  
 実証講座： 延べ受講者数は13名。当初定員20名には満たなかったものの、アンケート結果からも受講者個々の関心、意欲の高さが顕著であった。

### ②事業により得られた成果

企業側の課題として、情報管理規定の未整備や情報の属人化など、調査結果の過半数以上の企業でなおざりにされている実態が明らかに。くわえて、被雇用者の意識調査では、その6割以上が企業のリスク管理や法令順守といった用語自体への理解力や関心の低さが顕著であった。調査結果により、“育成人材”に対する将来的な雇用の潜在ニーズの高さと、情報管理上の本質的な問題点を明らかにすることができた。以上の結果を基に、プログラムでは、座学に留まらず、演習やケーススタディといったより実践的な内容を取り入れ、受講者自身がより身近な問題として捉えられるよう工夫を加えた。受講者アンケート結果からも、難易度が高いとの回答が多数を占める一方で、全体の8割以上がプログラムの理解度や満足度が高いとの評価が得られた。

### ③今後の活用

- (1) 開発プログラムの周知  
事業実施校、協力校、実施委員・分科会委員が関与する学校・団体に本事業の成果として開発プログラム(カリキュラム、テキスト)、及び報告書を配布し周知する。
- (2) 麻生塾専門学校グループ内における実証講座
  - ・麻生情報ビジネス専門学校の新学科、コースなどの設置検討
  - ・既存のビジネス系学科・コースの新カリキュラムとしての検討、テキストの活用
- (3) 企業との連携  
求職者、失業者の登録先である人材登録企業・組織や企業研修向けに今回開発した教育プログラム(カリキュラム)を使用した講座の提供や担当講師の派遣なども検討。

### ④次年度以降における課題・展開

事業検証結果から、企業側の改善課題は大きく、従来の管理部門人材(総務・人事)にはない知識やスキルを専修学校段階から身に付けさせることは、あらゆる企業に必要な職能であり、就業機会を多く得られると考える。今後は、若年者はもとより、中途退職者や企業内研修プログラムといった就業年限や年齢を問わず、習熟度別に適応できる講座開発を目指すこととする。

## 3. 事業の実施に関する項目

### ①履修証明書等

受講者の出欠状況を鑑み、修了証書のみ発行。  
受講対象者が失業者及び再就職活動中でもあり、受講期間中に失業保険他の手続きや就職活動、急な採用試験・面接などが生じ、欠席となるケースがあるため。

### ②カリキュラムの内容

本事業は5つの講座およびキャリアカウンセリングにて構成。

- ①キャリア支援教育講座(15時間)
- ②レコードマネジメント講座(15時間)
- ③リスクマネジメント講座(18時間)
- ④内部統制における情報管理講座(30時間)
- ⑤情報セキュリティにおける情報管理講座(30時間)

### ③講座の実施

講座期間、授業時間数は当初計画内容にて実施。  
受講者については当初見込み定員20名に対し、延べ13名の受講。  
募集告知は、各協力機関にくわえて地元の専修学校、短大・大学や就職斡旋機関などへの配布(設置)、新聞告知掲載の活用など幅広く展開するも、講座の設定期間(終日・連日)の不都合や自己都合などにより最終受講者数13名に留まる。

#### ④支援対象者(受講者)の状況

今まで勉強したことがない未知の分野だったが、講座を受講したことで「情報管理」に興味を持ち、この分野の資格はどういったものがあるのか講師に聞く受講生も見受けられ、関心の高さがうかがえた。また、受講生の講座に臨む姿勢は非常に積極的で、休み時間、講座終了時への講師への質問の活発であり、今回の講座で自分のものとして知識を得ることが楽しいとの意見が多数であった。また、今回の講座を受講したことが、就職に対する意識の変化に繋がり、講座受講中・終了直後に、合わせて3名の受講生が就職を決めることができた。以下に受講者の声を参考までに抜粋。

<受講生アンケートの結果>

- ①. 講座満足度  
全体的に理解度及び受講満足度が高く、受講して良かったという意見が多い。
- ②. 講座難易度
  - ・基礎講座(キャリア支援教育講座・レコードマネジメント講座)に関しては平均的な意見が多い。
  - ・実践講座(リスクマネジメント講座・内部統制における情報管理講座・情報セキュリティ講座)は、「難しかった」という意見が多い。
- ③. テキスト満足度  
全体的に実務的な内容が加味されたことから満足度が高い。